

2020年6月8日  
株式会社東陽テクニカ

## Interop Tokyo 2020 『Best of Show Award』で 準グランプリと審査員特別賞を受賞

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝)は、オンラインで開催されている国内最大級のインターネットテクノロジーイベント「Interop Tokyo 2020」で行われた『Best of Show Award』の結果が6月3日に発表されたことを受け、自社で販売する Spirent Communications 社製の「Spirent Wi-Fi 6 トータルテストソリューション」がテスト部門の準グランプリを、同じく 5G/4G/Wi-Fi アクティブネットワークモニタリングプラットフォーム「Spirent VisionWorks E5」がマネジメント&モニタリング部門の審査員特別賞を受賞したことをお知らせいたします。

『Best of Show Award』は、出展企業各社からエントリーされる選りすぐりの新製品を、有力メディア各社のキーパーソンと、学术界の識者によって編成される審査委員会が審査し、「今年の一品」を決定、表彰するものです。

### 【 準グランプリ受賞 (テスト部門) 】 「Spirent Wi-Fi 6 トータルテストソリューション」



「Spirent Wi-Fi 6 トータルテストソリューション」は Wi-Fi 6<sup>※1</sup>に対応した AP(アクセスポイント)のパフォーマンス評価のための、最適な環境を提供するテストソリューションです。業界標準の二つの機器、ネットワークパフォーマンスマスター「Spirent TestCenter」と RF チャネルエミュレーター「Vertex」とを組み合わせ、AP に接続するクライアントの動作や通信パスへのチャネルモデル、伝搬特性の変動、通信負荷などを疑似し、MIMO<sup>※2</sup> やビームフォーミング<sup>※3</sup> など、Wi-Fi 6 に対応する AP に求められる、様々な試験を行うことができます。

#### <主な特長>

- ・多彩なパターンの Wi-Fi 4~6 向けチャネルモデル・テストシナリオが利用可能
- ・実環境下で取得したデータを利用した実環境模擬試験が可能

- ・マルチユーザーMIMO、ビームフォーミング・トラッキング試験に対応
- ・最大 10Gbps の速度可変ポートを 4 チャンネル搭載
- ・最大 480 ユーザーを疑似可能
- ・専用ハードウェアによるトラフィック生成が可能
- ・最大で 16 の RF ポートを構成可能(試験規模に応じて最小 2 ポートから)

製品ページ : [https://www.toyo.co.jp/ict/contents/detail/Vertex\\_STC-wifi6.html](https://www.toyo.co.jp/ict/contents/detail/Vertex_STC-wifi6.html)

- ※1 より高速で、より多くの端末との同時接続を実現する最新の Wi-Fi 規格(IEEE 802.11ax)。
- ※2 「multiple-input and multiple-output」。通信品質向上のため複数のアンテナを使って送受信を行う無線通信技術。
- ※3 指向性の高い電波を使うことで干渉を減らし、より長距離への伝送を可能にする無線通信技術。

### 【 審査員特別賞受賞 (マネジメント&モニタリング部門) 】

### 5G/4G/Wi-Fi アクティブネットワークモニタリングプラットフォーム「Spirent VisionWorks E5」



「Spirent VisionWorks E5」はリアルトラフィックを用いた OTA<sup>※4</sup> アクティブモニタリング<sup>※5</sup>により、5Gをはじめ4G や Wi-Fi における、無線区間を含めた End-to-End<sup>※6</sup> のサービス品質の監視を実現します。モバイルネットワークサービス監視ソリューション「VisionWorks MSA」、モバイルコアネットワークテスター「Spirent Landslide」と連携する事で従来の監視手法では困難な障害予兆検知と原因特定の自動化を可能にし、新サービスの迅速な立ち上げに貢献します。また、超小型・ファンレス筐体のため屋内・屋外を問わず設置できます。

製品データシート(英文) :

<https://www.spirent.com/-/media/datasheets/broadband/pab/landslide/ds-spirent-visionworks-e5>

- ※4 「Over-The-Air」。無線通信。
- ※5 装置からテストパケットを送受信することで、疎通確認・通信経路特定・レスポンス時間測定・通信経路上の遅延やパケットロスなどの情報を収集し、障害の事前検知や通信性能・品質の評価に用いるネットワークモニタリング方式。
- ※6 二者間を結ぶ通信経路全体。

## 【ファイナリストノミネート製品】

『Best of Show Award』ファイナリストとして選出された製品をご紹介します。



### ■セキュリティインシデント・アクティブモニタリングソリューション

#### 「CyberFlood Data Breach Assessment」(セキュリティ部門)

セキュリティインシデントに対する耐性レベルを評価・可視化するアクティブモニタリングソリューション。

製品ページ：<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/DataBreachAssessment.html>

### ■ポータブル型ネットワークフォレンジックシステム「TOYO ThunderBOT」(セキュリティ部門)

国内初となる脅威インテリジェンスと連携するポータブル型ネットワークフォレンジックシステム。パケット解析からセキュリティリスクを検知するソリューション。

製品ページ：<https://toyo-slc.com/thunderbot/>

### ■セキュリティ/アプリケーションテスト「Spirent C200」(マネジメント&モニタリング&テスト部門)

ネットワーク機器のパフォーマンスとセキュリティを評価する 100G インターフェース対応のオールインワン・テストアプライアンス。

製品ページ：<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/cyberflood.html#C200>

### ■パケットキャプチャ/解析システム「SYNESIS」(マネジメント&モニタリング&テスト部門)

5G ネットワークで使用される 1/10/25/40/100GbE が 1 台でキャプチャ可能な、ポータブル型パケットキャプチャ装置。

製品ページ：<https://www.synesis.tech/>

## <「Interop Tokyo 2020」概要>

イベント名：Interop Tokyo 2020 (オンライン開催)

開催期間：2020年4月13日(月)～6月30日(火)

公式サイト：<https://interop.jp/>

## <株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最先端の計測機器の輸入販売を行ってきました。現在の事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンスなど多岐にわたり、独自の計測技術を搭載した自社製品の開発にも力を入れ、国内外へ事業を拡大しています。「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、5G(第 5 世代移動通信システム)の普及や自動運転車開発なども支える最新ソリューションを提供することで、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ マーケティング部

TEL : 03-3245-1067 (直通) E-mail : [marketing\\_pr@toyo.co.jp](mailto:marketing_pr@toyo.co.jp)

出展製品一覧ページ :

[https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/Interop\\_Tokyo2020-Online.html](https://www.toyo.co.jp/ict/seminar/detail/Interop_Tokyo2020-Online.html)

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。